



高梨葉月さんは2021年11月に長野県飯山市に移住し、翌年1月から地域おこし協力隊の仕事を始め、その後、さらに定住をめざすことになる。東京や大阪では移住セミナー、高齢者の孤立防止や地域の絆づくりのための集落サロン、飯山市移住定住支援サイト・飯山市ふるさと回帰センターからは、自分が移住して冬に備えて準備した購入品の紹介や、他の移住者へのインタビュー記事の発信に取り組むなど、活動は多岐にわたる。

高梨さんにはアーティストの顔もあり、個展やグループ展で絵画作品を発表、飯山駅1階の観光案内所ではマイトートバックを作るワークショップも開催している。

高梨さんの想いは、住民が撮影した雪まつりや菜の花の風景写真の展示会や、これまで市役所にしかなかった協力隊の活動拠点を新たなにつくる構想へと広がる。協力隊の居場所には、アトリエも併設し、移住者交流会も開催し風通しの良いコミュニティスペースにしたいという。移住者の増加に向けた取り組みとしては、四季の魅力など、先輩移住者の目線からの魅力の発信とともに賃貸マンションの増築や、空き家と地域のマッチングシステムにより、若い人にも気軽に家を借りられるようにしたいと考えている。

高梨さんは、すでに奥信濃イノベーターへの道を歩んでいるのだ。